

TANKYU NEWS

どうする？ 「夏休み」の探究

7
July

MATSUMOTO
AGATAGAOKA
Senior High School



発行 探究学習推進室
〒390-8543 松本市県2-1-1
松本県ヶ丘高校 TEL 0263-321142

夏は「活動」するぞ！

いよいよ残りわずかで「夏休み」となります。2年生の「個人課題探究」では、普通科も探究科も、それぞれの「テーマ・課題」がほぼ出そろい、具体的な探究活動が始まっています。

2年生普通科では7月6日(木)に、探究科は7月10日(月)にそれぞれ「中間報告会」を実施。信大生や地元各企業さんによる外部アドバイザーの皆さんにもお越しいただき、あらゆる方面から助言をいただきました。

生徒の皆さんの発表を聞いた先生方からは、「とても具体的な探究になっていて素晴らしい」とか、今年も「自分からどんどん積極的に」できていて感心した、という感想が寄せられました。

いよいよ夏休み、まとまった時間をつかって実験やフィールドワーク調査を行いましょう。また2年生は「首都圏研修」もあります。多くの刺激を自分のものとする、充実した夏休みにしてください。



微生物の力で廃棄野菜を農業に役立てる探究をすすめる清水結月さん(2-A)と渡邊咲奈さん(2-B)。この日は面談週間の午後というまとまった時間を活用して、ミキサーで細かくしたキャベツから「しぼり汁」を取り出していた(7/18,生物室にて)。なお、2人の探究は令和5年度SBC学校科学大賞の候補に選ばれている。

普通科 「探究活動をググっと進める大作戦」シートを活用しよう



2年生の課題探究はこ夏休みでどこまで具体的に進められるかが大きな勝負所。特に普通科の皆さんは「探究」の時間が昨年より少ないので、いかに自分で主体的にできるかが問われます。

ここで、探究コーディネーターの宮木先生に作成していただいた本校オリジナル「探究活動をググっと進める大作戦シート」を活用して、今までの自分のしてきたことと、夏休みの取り組みをもう一度みなおしましょう。そして、一番大事なことは、**ゼミ担当の先生と夏休み前に必ず打ち合わせておくこと**。何となく考えている計画の背中を押ししてもらいましょう！

宮木慧美コーディネーターが作成した「探究活動をググっと進める大作戦」シート

MONO-COTO INNOVATION 2023

縣陵生 2 名が本選へ

一般社団法人 CREATION DRIVE が主催する MONO-COTO INNOVATION 2023 の本選出場者に本校から 2 名が選出された。7 月 31 日(月)~8 月 4 日(金)の 4 泊 5 日、BumB 東京スポーツ文化館および日本科学未来館イノベーションホールで開催される同イベントでは、全国の中高生が学校の枠を超えてチームを組み、デザイン思考を活用しながら、テーマに対して革新的なアイデア創造に挑戦する。今年度のテーマは「本屋の再定義」(提供:MARUZEN, JUNKUDO)と「駅での心地よい体験のデザイン」(提供:JR 東日本)の二つ。全国 521 名のエントリーから絞られた 80 名に選ばれた齊藤妃由さん(1-A) と水谷俊介さん(1-B)に話を聞いた。

5 日間、短期集中プログラムで積極的に一水谷さん



水谷俊介さん(1-B)

水谷さんは本校入学前から「未踏ジュニア」という、独創的なアイデアや卓越した技術を持つ 17 歳以下の小中高生支援プログラムに参加してきた。すでに中学生時代に「Birds eye ぴーちゃん」と名付けた自転車危険予測アプリを開発。特許も取得している。

今回の MONO-COTO INNOVATION では、「お掃除での困りごと解決」というプレエントリー課題に、なかなかお掃除や片付けが苦手な人に対して、カメラが片付けの停滞を判断して、キャラクターが片付けを促してくれるというアプリを開発。プロトタイプを作成して検証を行った。

高校生最初の夏休みを、やったことのないことにチャレンジしたり、探究的なものにしたいと考えていた水谷さん。5 日間という短期集中プログラムは魅力的だったという。初めて会う仲間と寝食をともにしながら、積極的にアイデアを出し合っていて楽しんでいたと意気込みを語った。

知らない人・ことに出会うのが楽しみ—齋藤さん

齋藤さんは、幼いころから空想が大好き。自分の想像した世界を絵に描いたり、現実にはないものを形にすることを考えるのが好きだった。

プレエントリー課題には「モッププロテクター」というアイデアを呈出した。「膝が痛くなるし汚れる」から雑巾がけはやりたくないというお母さんの言葉から、私服で清掃をする縣陵生にもインタビューを行い、膝を痛めずに汚れまできれいにする一石二鳥のアイデアを形にした。

クイックルワイパーと膝プロテクターとマジックテープというシンプルな素材でプロトタイプを作成して検証。楽しさの伝わる魅力的なエントリーシートを完成させた。



齋藤妃由さん(1-A)

普段から知らないものやコトを自分の目で見て確かめ、視野を広げたいと考えている齋藤さんは、今回のイベントの情報を HR で聞いて、県外の高校生とも出会えることにも魅力を感じた。友人に誘われたことや、ご家族から「やりたいことはやれるうちに」という言葉に後押しされて応募した。イベントで新しい世界が開けることに期待している。

CHALLENGE!

コンテスト・
セミナー情報

なにかに挑戦してみよう

夏休み以降、高校生の参加できるコンテストやイベント、セミナー等が多数あります。自分の殻を破りたいと思っている生徒のみなさん、ぜひなにかひとつやってみましょう。

TANKYU NEWS では号外として「夏以降のコンテスト・セミナー特集」号を近日発行します。縣陵メールで配信しますので、是非目をとおしてみてください！